

高松市生涯学習センター 生涯学習カレッジ（個人生活に役立つ講座）

## 「古典文学に親しむ講座 更級日記を読む」を開催しました

平成22年9月1日から11月10日まで、谷原博信さんと和田幸雄さんを講師にお迎えし、講座を開催しました。

まなびCAN恒例の講座となっている「古典文学」ですが、今回は平安中期の日記文学である「更級日記」を取り上げました。

菅原孝標女（すがわらのたかすえのむすめ）の手による、日本でも稀な女流日記文学は、当時の風習や習慣などを知る貴重な資料です。また一方で、少女時代のみずみずしい感性や、家族の不幸に面した時のやりきれない感情、親を思う気持ちなど、率直で細やかな内面の表現が記されている、一女性の人生の記録とも言えるでしょう。時代を超えて、現代の私達にも深く共感できる部分がたくさんあります。



父の赴任地である上総（かずさ）国から京へ帰る旅の記録から始まる少女時代、不運な現実のできごとが重なり、人に勧められて始めた宮仕え、結婚を経て夫の死後に訪れた孤独な心境。日記を読み進めるにつれて、読者も作者の生涯を共にたどっているような気持ちになります。



「古典文学を読む」講座は毎回好評をいただいております、今回も多くの方の古典文学ファンにご参加いただきました。講師の谷原さん、和田さん、それぞれ個性ある講義を、受講者の皆さんに楽しんでいただけました。

早くも「次回は何をするの?」という期待の声も挙がり、盛況のうちに講座を終了しました。